



令和5年度親睦行事 「観桜トレッキング」



石井ダム



記念撮影「針の穴」

神戸東支部（支部長・栗原正雄）は、4月1日（土）親睦行事「観桜トレッキング～石井ダム・鳥原貯水池・会下山公園」を実施しました。

昨年は、限られた人数での実施でしたが、今年は久しぶりの行動制限なしでの実施で支部長以下12名の参加者が集まりました。トレッキングコースは去年に引き続き原田監事役が担当、日頃から休日に近隣の山々をトレッキングしている中、高齢の参加者の体力を考慮、更に前日の桜の開花状況も偵察して支部地域内のこのコースに決定しました。

当日は、全国に名高い有馬温泉の沿線、神戸電鉄鈴蘭台駅に集合、まずは石井ダムを目指して歩き始めると桜はちょうど満開、それに前日まで雨の天気予報がウソのように覆り天気・気温も最適な状態でダムに到着しました。石井ダムでは、海自出身の工藤副支部長がダムの大きさを護衛艦の大きさと比較した説明を実施し、参加者の興味を引いて理解を深めていました。そこから周りの景色を眺めながらゆっくりと階段を下り、次の目的地、鳥原（からすはら）貯水池に向かい途中の公園で休憩（昼食）を取り体力の回復を図った後、トレッキングを再開、鳥原貯水池（通称、鳥原ダム）に到着しました。此処では若本副支部長が説明を実施、1905年完成した日本で4番目に古い重力式コンクリートダムで護岸に並ぶ石臼は、かつてこの辺りでは線香にする原料粉を製造するための水車が多くあり、使われていた石臼を鳥原村が水没する時に記念に残したという説明がありました。その後、一行は最終目的地の会下山公園を新湊川沿いに目指し、桜の美しさを満喫しながらトレッキング。会下山公園は、市街地に隣接する公園で桜の名所であり多くの花見客が賑わう中、全員が無事到着しました。

最後は桜の木の下で一同乾杯、喉の渇きを癒した後、神戸市内14箇所に設置されたビューポイントサイン「針の穴」の一つが設置されている場所で記念撮影をして解散しました。

（神戸東支部事務局・村田）